

党市議会議員 中村あさと



【訂正】
前号の当欄の写真の日付は3日でなく7月23日でした。お詫びし訂正します。

この様な取り組みを始めるキツカケとなったのは、東日本大震災の原発事故で電気やエネルギーの問題と向き合わなければならぬと考えた事だそうです。環境省のとりにくみを通じて、行政や大学などと協議会を設置し、しずおか未来エネルギーを立ち上げたそうです。お話によれば、遠くで電気を作っているよりも、地域で作れば効率もいいし、地域の利益が外へ出て

静岡の自然エネルギーを学ぶ

いかないとの事でした。活用したエネルギーは、効率も良く全国でも日照時間が一番長い静岡の特徴を活かした太陽光を活用しているそうです。資金の返済や分配も無事に終わり運営も順調との事でした。こうした、環境省を通じて、一次認可された事業は、全国でも複数あり、どれも継続されているそうです。和歌山の自然エネルギー資源は、静岡と比べて豊富にあるのではないのでしょうか。非常に希望者の膨らむお話をしました。



静岡の浜岡原発

選挙結果など語り合い 共感や納得がうれしいです。

参議院選挙後、少しずつ地域訪問を後援会の方々と行っています。選挙結果についての反応は「何と言つてよいか」「残念でしたね」「よかったね」などいろいろです。自民党が9議席減らしたこと、公明・維新を合わせた改憲勢力は発議に必要な3分の2を割ったこと、その結果をつくるうえで決定的役割を果たした。定数1の32選挙区のうち10選挙区で野党統一候補が勝利したことなど伝えると共感や納得をしていただき、元気が出ます。安倍

首相は任期中の改憲をあきらめていません。市民一人ひとりの草の根からの立ち上がりがあります。重要です。暑さに気を付けながら安倍9条改憲ノー！の300万署名達成のため頑張ります。ご協力よろしく願います。(奥村のり子)



暑い中で街頭宣伝もしています。

のり子の週刊日誌(主なもの)
8月2日 市駅・宇治交差点宣伝 団県内視察 懇親会
3日 地域訪問
4日 会議 西庄発電計画地視察 ウォーキング講習会
5日 無料河西相談所 国会議 旬会 会議
6日 会議
7日 会議
8日 市駅前事務所無料生活相談

自民党の絶対得票率は2割以下 3社の世論調査で「改憲」は33.7%

投票率が過去2番目に低い参院選でアベ首相は「国民から力強い信任をいただいた」と強気で、「少なくとも議論を行うべきだ」という国民の審判が下った」と改憲に前のめり姿勢です。だが国民の半数も投票していない超低投票率の結果で有効投票で見ると自民党は絶対得票率でなく、日本の全有権者の絶対得票率で見ると自民党は比例代表で16.7%、選挙区では18.97%でどちらも2割以下。これは2012年末に安倍政権が復帰して以降行われた国政選挙での最低でした。メディアからも「全有権者の5人に一人以下の支持しか得ていない計算だ。これでは民主主義の基本とされる『多数決』『多数派による支配』ではなく『少数決』『少数派支配』である」(山陰中

央新報社説)などの批判があがっています。民意は改憲ではなく社会保障であることが各種の世論調査からくっきりです。「朝日」「読売」

「共同通信」が投票直後の7月22、23日に行つた調査です。「朝日」は「安倍首相に一番力を入れてほしい政策」は「年金などの社会保障」38%で「憲法改正」は3%。「読売」は「今後安倍内閣に、優先的に取り組んでほしい政策」は、「年金など社会保障」41%で「憲法改正」は3%。「共同」の調査は「安倍内閣が今後、優先して取り組むべき課題」は8項目で二つまで回答方式で「年金・医療・介護」が48.5%で「憲法改正」は6.9%でした。アベ晋三という人はどこを見て政治をしているのでしょうか？頭の中は憲法9条と自衛隊しかないのでしょうか。(編集室)

Relay talk

リレートーク

Rely talk